

低炭素社会戦略センター

シンポジウムで研究成果紹介

低炭素社会戦略セン

ター（略称・LCS、

センター長・小宮山宏

氏）は12日、都内でシ

ンポジウム「低炭素社

会実現に向けた道筋」

を開催し、約200人

が参集した。同シンポ

ジウムは毎年開催して

いるもので、今回はL



挨拶する山田副

センター長

鉄リサイクルでCO₂ 80%削減

転炉のスクラップ利用が重要

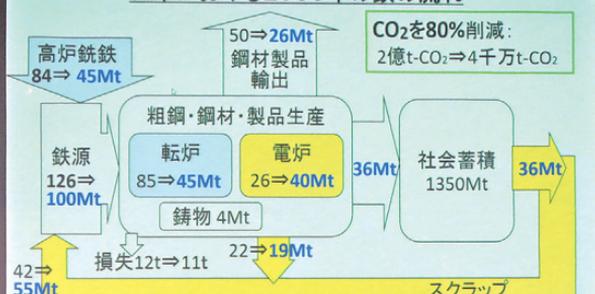
CSが進めている技術や経済、社会システムに関する研究成果を講演などで紹介。特に鉄鋼業との関連では、LCSの山田興一副センター長が主催者講演の中で「鉄リサイクルによるCO₂排出量80%の削減」について言及した。

山田氏は「日本における2050年の鉄の流れ」と題した循環図を示した上で、銑鉄の減少と鉄スクラップの増加で鉄源供給を1億トとした場合、CO₂の

排出量は9千万トと、で使用することが重要2億トから56%の削減とした。

山田氏と小宮山氏の80%削減を達成するのは、東京製鉄が長期環境ビジョンを策定するCO₂の追加削減が必手がかりとした書籍要だが、そのためには「新ビジョン2050老廃スクラップを転炉0」の共著者。

日本における2050年の鉄の流れ



上記バランスで、鉄源126Mt⇒100Mtで9千万t-CO₂に(56%減)。80%削減するには、①5千万t-CO₂の追加削減のためCCS利用で5,000円/t-転炉鋼の追加費用必要。②鋼材製品輸出をゼロで鉄源71Mtに減少。

日本鉄鋼連盟「鉄循環図(2014年度)」をもとにLCS作成